



小林 春子さん(88歳・長祿町)

色彩豊かな日本画に心をひかれ「萌翠会」や美術協会に所属しながら、数多くの作品を出展し、展覧会ではひとときを輝いています。
「絵がなければ、つまらない毎日でした。友人と会って、おしゃべりしながら描くのが何より楽しみです。」と朗らかに話してくれました。
趣味の旅行では、目に留まった風景など、旅の思い出を振り返りながら絵に表現して残しているそうです。



ほぼ毎日楽しく絵を描いています

日本画特有の質感や、自然な色合いが相まった小林さんの作品は、一層魅力的です。コロナ禍が収まり、再び多くの人に絵を見てもらえる日々を心待ちにしています。



大和 了さん(84歳・和田)

たくさんの仲間との交流を楽しむ

「人との交流を楽しむこと」をモットーに、ゲートボールやパークゴルフ、スポーツダンスなど様々な活動に取り組み、幅広く人間関係を築いて、多くの仲間と交流を深めています。

特にスポーツダンスは、ペアと息を合わせて踊るため、日頃の練習でのコミュニケーションが大切です。「個々の特徴を發揮しつつ、二人が音楽と一体となり踊れたと感じる瞬間は、何とも言い表せません。」



スポーツダンスの練習では、いつも笑顔が絶えません

達成感があり、やめられない魅力がある」と語る大和さん。ルンバのリズムに乗って軽快にステップを踏む姿は、キラキラ輝いています。

教えます。「元気の秘けつ」

9月は敬老月間です。今月号では、趣味や生きがいを持ち、心身ともに健康を保ちながら元気に過ごしている4人に「元気の秘けつ」を教えてくださいました。

☎長寿福祉課 ☎(88)8116

楽しみと生きがいの本の読み聞かせ

「本の魅力をたくさんの子どもたちに届けたい」と読み聞かせの会「ポケット」の活動を30年以上続けています。

「子どもたちからパワーをもらって、また頑張ろう！と思いつけることができました。読み聞かせの活動は楽しみであり、生きがいです。」と笑顔で話してくれました。

歌や手遊びを交えた関根さんの読み聞かせは、子どもたちだけではなく大人もひきつけ、本の魅力を伝えています。



身振り手振りを交えて本の魅力を伝え続けています

ほかにもソフトテニスやコーラスが趣味の関根さん。普段から体と頭を鍛え、楽しみと生きがいを持つことが元気の秘けつです。



関根 八重子さん(84歳・山寺町)



八木沼 義信さん(80歳・小中)

ふるさとの自然と仲間たちが大切な財産

「元氣な江花川であってほしい」との思いから、地元有志と協力して「遊水会」を立ち上げ、会長として水質保全調査に尽力してきました。

また、子どもたちが環境に対する考え方や生き方を変えるきっかけになるよう「せせらぎスクール」を開講し、年々変化する川の様子を記録し続けています。「一人では何もできなかつた。快く協力してくれる仲間たちが何よりも財産です。」と笑顔で活動を振り



江花川を知り尽くしている良き先生です

返ってくれました。「まだやりたいことがたくさんある」と目を輝かせて話す八木沼さん。今後も多くの子どもたちへ、ふるさとの自然の美しさを伝えていきます。